

**A EFICÁCIA DO TRATAMENTO DE ACUPUNTURA PARA OS RINS.**

鍼灸の魔術師

(49の2)

**ペンギン・文・育**

**腎臓の水分調節が原因**

A君は十八歳、高校三年生、三年前の高校一年生ごろに心臓の調子がよくなないと訴え出した。ペンギン先生の診断で胃や脾臓が弱っていることや、腎臓の働きが弱くなっていることがわかった。

特に腎臓は①老廃物の処理、②体内の水分や電解質の調節、③造血ホルモン分泌、④血圧の調節、⑤効力のあるビタミンDの生産などさまざまな働きがある。

ペンギン先生が注目したのはA君は腎臓の働きが弱っていて、体内でろ過された水分が十分、体の中に再吸収されおらず、体のさまざまな電解質の濃度が一定に保たれていないことがわかった。

そのため精神不安定で集中することができず、体がだるい、いつも顔色が悪い。

い、心臓がドキドキ早く打つ、などの症状が現れていた。東洋医学では心臓を「火」、腎臓を「水」にたとえる。

A君のような症状の場合、薬で治療すると、医者には心臓の脈拍が早く打つ治療を行うため、いつまでたつてもよくなるらない。ドキドキする原因が腎臓の機能低下から来ているためだ。

心臓の動きはひとつの症状であつても全てではないからだ。

医者がどこから原因が来ているのかつきとめなければ、A君のようにあちこちの医者にかかつて、治療をしても一向に改善しないことになる。

A君は治療を開始して学校の成績がグングン伸びてきて、よく集中することができるようになった。

またゆつくりと歩行を開始、三十分間早足で歩くことができるようになった。後には一時間を早く歩けるようになった。今はサッカー大会に友達たちと出場できるようまで回復した。

体が回復に向かうと自分に自信ができて、すべてよい方向へ向かった。

このような症状にはどんな食物がよいか。

キクラゲ(木耳)、シイタケ、黒豆(フエイジョン・プレット)などは腎臓に大変良好な食べ物だ。冷たい物やビメンタード、揚げたものは控えること。

ペンギン先生の診療所は聖市パウリスタ区パンブローナ街九八八番一階。診療所(電話3253・6503、3253・6659)。

